

# 2017年度 事業計画

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

伝統のかおり 高き学園を目指して

学校法人 修道学園

## 2017年度 学校法人修道学園事業計画

### ＜法人本部＞

主要項目	具体策	所管部局	実施月
1 法人運営の充実	(1) ガバナンスの強化 常務理事会の機能等の検討	法人事務局	年間
	(2) 三様監査の充実 監査法人との密な連携	法人事務局	年間
	(3) 理事・監事等役員、評議員の改選	法人事務局	5月
	(4) 設置学校等の廃止に伴う所轄庁等への諸手続き 鈴峯女子短期大学、大学院法務研究科の廃止 寄附行為の変更、学則等関連諸規程の改正、整理	法人事務局	年間
	(5) 人事、給与等处遇に係る基本的事項の検討	法人事務局	年間
2 資産の運用	(1) 大学部 運用目標5億円	法人財務課	年間
3 施設の整備	(1) 中高部 「修道学問所之蔵」の文化財申請	法人財務課	9月
	(2) 鈴峯中高部 新校舎の建設	法人財務課	年間
4 その他	(1) 学園創始300年に向けて 諸事業の準備 (2) 寄付金の募集	法人事務局	年間

**2017年度 学校法人修道学園事業計画**  
**< 広島修道大学 >**

主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
<b>I.法人の合併</b>			
1 合併等への対応	①附属鈴峯女子中高の人事給与システムの充実 ②修道中高部の人事給与システムの統合検討	総務部	通年
<b>II.教育組織・教育支援体制の構築</b>			
1 新学部・学科等の設置等	①国際コミュニティ学部の設置(届出) ②大学院人文科学研究科の収容定員増(届出) ③法務研究科の廃止(届出) ④寄附行為変更の届出	総合 企画課 ・ 総務部	4～6月 4～6月 5月 通年
2 教育組織の検討・充実	①広島修道大学臨床心理相談センターの開設と運営推進 ②日本臨床心理士資格認定協会への指定申請準備 ③公認心理師資格への対応	人文科学 研究科 ・ 総合 企画課	通年
3 教員組織の充実	①研究指導教員及び研究指導補助教員の充足、充実	各研究科	通年
4 研究支援体制の充実	①研究倫理に関わる組織体制の見直し ②全教員、研究に関わる職員に対する研究倫理教育の実施 ③学生・大学院生に対する研究倫理教育体制の検討	ひろみらC	通年
<b>III.教育課程－新カリキュラムの策定と新学事暦の導入</b>			
1 新学部等の円滑な設置	①国際コミュニティ学部に関するカリキュラムの制度設計、諸規程の整備	教学C	通年
2 新設学部等の円滑な運用	①教育学科及び健康科学部の教育課程の円滑運用支援 ②設置計画履行状況等調査への対応 (教育学科設置2年目、健康科学部設置初年度) ③資格課程の取り組みへの対応 (保育士課程・栄養関係資格課程・臨床心理士コース設置準備等)	教学C	通年
3 2017年度改正カリキュラムの円滑な運用	①4学期制等の導入に留意した、2017年度改正カリキュラムの円滑な運用、支援 ②教員免許法改正(2016年度)による教職課程再課程認定申請への対応	教学C	通年
4 長期インターンシップの確実な実施及び受入先の開拓	①2017年度の夏季休暇中の確実な実施 (事前・事後指導、期中のフォロー、報告会実施、分析・改善) ②2018年度以降に向けての受入先の継続的開拓 ③長期インターンシップが実施可能なカリキュラムの構築	キャリアC ・ 各学部	通年
5 全学共通情報教育の検証手法の検討(2017年度カリキュラム)	①情報教育(全学共通)の成果指標の検討 (社会人基礎力(経産省)、21世紀スキル(文科省)等を参照し検証項目を設定)	情報C	通年
<b>IV.学生の受け入れ－外部環境の変化への対応</b>			
1 入試制度改革	①国際コミュニティ学部(国際政治学科、地域行政学科)の入試制度、受験科目、入試日程等検討・実施 ②附属鈴峯女子高校からの附属校推薦入試の実施	入学C	4月
2 学生募集活動の推進	①国際コミュニティ学部(国際政治学科、地域行政学科)の学生募集活動 ②健康科学部心理学科、健康栄養学科の学生募集活動(2年目)	入学C	通年

主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
<b>V. 学生支援・学習支援</b>			
1 学生の危機管理意識の向上	①法令順守の意識向上のための研修会の開催 (県警サイバー犯罪対策課による講演会等) ②SNSの正しい使用について指導、周知徹底 (修大基礎講座、成績発表時ガイダンス等) ③防災意識・知識の向上	学生C ・ 総合 企画課 ・ 財務部	5月  通年
2 障がいを持つ学生への支援	①障害者差別解消法に基づく障がいを持つ学生への支援体制の整備 ②介助要員の養成の推進ならびに支援機器の検討・整備の推進	学生C	通年
3 学習支援体制の整備・拡充	①学部・学科・専攻との連携、教育活動支援を通じた教育機能の強化 (学習アドバイザー業務の拡充) ②「修大基礎講座」に関する枠組みの精査及び実施態勢の検討 ③「フォローアップ面談」の本格的な運用及び実施拡大に向けた態勢整備 ④教職員にセンターの機能周知 ⑤学科・専攻教員と連携し、初年次生の学びへの不安解消対策の検討・実施 ⑥学習支援プログラム(ワークショップ)の精査・拡充	学習 支援C	通年
4 教育方法の企画・開発支援	①学生用教材「ラーニング★スキル」及び副読本「ラーニング★ナビ」の合冊化	学習 支援C	通年
<b>VI. グローバル化への対応と地域社会の課題解決に取り組む人材の育成</b>			
1 グローバル化の推進	①2017年度にスタートするグローバル科目群の履修の推進と検証 ②留学支援教育との連携および各種留学プログラムの周知による留学派遣の促進 ③グローバル教育運営委員会による学内取組の定着と強化 ④正規留学生数の増加 ⑤日本企業への就職開拓(留学生)	国際C 入学C キャリアC 各学部 各研究科	通年
2 学習、教育と交流の連携	①協創館Global Learning Studiosの周知と利用の促進による言語学習の推進 ②協創館 iCafeの利用による多言語・多文化交流環境の提供と交流の推進 ③留学生による地域交流など課外交流活動の促進 ④学内における国際交流活動の支援	国際C	通年
3 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業「イノベーション・ブリッジ」によるひろしま未来協創プロジェクトの推進	①教育領域の推進(地域イノベーションコースの検証) ②研究領域(シンクタンク)の推進(各連携協定先との共同調査・研究の継続) ③社会貢献領域の推進(ちいスタと地域イノベーションコースとの連携) ④ひろみらプロジェクトの総括(ひろみらFES、ひろみら会議、外部評価委員会等を開催し、事業検証の上、継続プロジェクト事業を精査)	ひろみらC	通年
4 地域社会との連携	①地方公共団体、経済団体等と締結した協定に拠り、研究・教育・まちづくり・人材育成・生涯学習等について協働の推進(とくに坂町、広島経済同友会の創業支援委員会・少子高齢化対策委員会・ひとづくり委員会) ②地域つながるプロジェクトの報告会のあり方及び評価方法の検討・実施	ひろみらC ・ キャリアC ・ 関連学部	
5 新規補助金事業申請	①経済産業省の補助金事業への応募準備	総合 企画課 ・ 商学部	2月
<b>VII. 財政・施設設備の充実</b>			
1 事務システムの改善	①旅費支給方法(支給基準を含む)のシステム化を検討・実施 ②業務におけるより効率的な移動手段・体制の整備 (移動手段の拡充、交通系ICカード利用について検討) ③増大する調査業務への対応検討・実施 ④職員の人事考課制度の検討(内容及び方法の見直し、規程化等) ⑤新給与体系導入の検討 ⑥新財務システムの導入推進 (新システムの導入、2018年度から本格稼働予定) (修道中高部と附属鈴峯女子中高部も含めた統一システムを検討)	総務部      財務部	通年      3月
2 キャンパスマスタープランの策定	①キャンパスマスタープランの策定 (新たに入学定員厳格化への対応を織り込み策定) (1号館、2号館、4号館、体育館、本館、の建替、改修計画等)	財務部	3月

主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
<b>VII.財政・施設設備の充実(続き)</b>			
3 情報環境の整備	①学生用パソコンの入れ替えを実施(ラーニング・コモンズを含む) ②電子資料の活用状況を確認し、新設学部関係ツールとの入れ替えを実施 ③科学研究費、補助金などの外部資金調達において有効な電子資料の選定 ④シングルサインオンシステム、教育用alpha サーバシステム及び学認システムを統合した統合alphaシステムの導入	図書館 ・ 情報C	通年
4 鈴峯女子短期大学からの移設図書資料整理	①鈴峯女子短期大学から2016年度末に図書館に移設した図書、雑誌、紀要の整理を実施(8,000冊程度) ②鈴峯女子短期大学から移設した教員図書について、夏季休暇から順次整理を実施(2,000冊程度)	図書館	通年
<b>VIII.自己点検・評価</b>			
1 認証評価申請 (大学基準協会)	①大学基準協会第三期認証評価申請準備(申請:2018年4月末) (点検・評価申請書、根拠書類作成他) ②学外者による自己点検・評価の実施	総合 企画課 ・ 各学部 各研究科	通年
2 IR機能の充実	①大学基礎数値、教育成果指標等の整理・検討 ②授業アンケート実施方法の改善と結果分析 ③IRシステムの安定稼働と更なる活用	総合 企画課	通年
<b>IX.本学を取り巻く人々と連携した戦略的な広報展開</b>			
1 戦略的広報の推進	①入学センター・同窓会等との広報連携の検討と実施 (国際コミュニティ学部、健康科学部等) ②大学ブランドイメージ向上への取り組み (大学案内、WEBサイト、看板広告等の新規展開)	総合 企画課	通年
2 本学を取り巻く人々との連携推進	①同窓会との連携強化策の検討 (同窓会との新たな連携体制の検討) ②寄付事業の創出 (寄付に関するリーフレットの作成・配布、寄付申込みシステムの導入検討)	総務部	通年
<b>X.附属鈴峯女子中高との連携</b>			
1 附属鈴峯女子中高との部局連携強化	①クロスキャンパスプロジェクトの推進 ②グローバル教育の推進 ③キャリア教育の推進 ④地域つながるプロジェクトへの参加 ⑤フラワーフェスティバルへの参加 ⑥リーダーシップ研修の実施 ⑦遠隔授業の実施 ⑧教員研修支援 ⑨広報連携の推進	総合 企画課 ・ 関連部局	通年

## 2017年度 中高部 事業計画

### 【教員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. 学力の向上	<b>1. 大学進学実績の向上</b>		
	①大学入試改革を見据え、進学実績向上のために必要な学力を向上させるために、各教科の授業改善、教員間の連携等について関係部署と協議しながら推進する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年
	②数値目標の達成に必要な各部署の課題を明確化し、定期的にその解決の状況を確認する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年
	③教科会の運営方法を見直し、教科主任の業務内容と裁量を見直す。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年
	④東大20名以上合格を数値目標として、志望者の増加に向け、生徒に対する進学指導、模擬試験対策、進学情報提供を強化する。また、東大・京大・医学部対策室を引き続き設置する。	進路部	通年
	<b>2. 学力観の見直し</b>		
	①評価の多様化への対応として、授業にアクティブラーニングを導入することの拡大を図る。また、授業を通して得られた思考力・判断力・表現力を評価するために、定期テストの出題内容や時間の変更、採点時間の確保などの変更を行う。主体性・多様性・協働性については生徒の能力が高まるような評価を行うための研究を継続する。	教務部	通年
	②2016年度に使用開始となった新教務システムの使い勝手を向上させることで、生徒の学力等を含めた情報の教員間での共有密度を高め、初級中級上級の三段階構想をハイレベルで継続していく。	教務部	通年
	③新教務システムの運用状況を注視し、よりよい評価システムの構築を目指す。ICT関連の整備を引き続きおこない、新しい学びを推進するための研究を引き続き行う。	中学教頭	通年
	<b>3. 学習意欲の向上</b>		
①1・2年のセミナー合宿を実施する。	進路部・担当学年	8月	
②4年の東大見学ツアーを実施する。	進路部・担当学年	8月	
③5年の東大・京大セミナーを実施	進路部・担当学年	8月	

	<p>する。</p> <p>④ 中級からの成績優秀者を顕彰する。</p> <p>⑤ 6年の到達度別クラス編成を実施する。</p>	<p>教務部・担当学年</p> <p>教務部・担当学年</p>	<p>通年</p> <p>通年</p>
<b>II. 国際理解教育の充実</b>	<p><b>1. 関連行事の実施</b></p> <p>① 2019年度3年次（2017年度の1年生が該当）から実施予定であるフューチャー・リーダーズ・プログラムとエンパワーメント・プログラムの実施に向け準備を進める。</p> <p>② 3年生の希望者によるオーストラリア海外研修を実施する。</p> <p>③ 4年の希望者によるスキルアップ講座を実施する。</p> <p>④ 3・4年生の希望者によるエンパワーメント・プログラムを実施する。</p>	<p>育成部・教頭補佐</p> <p>育成部・教頭補佐</p> <p>育成部・教頭補佐</p> <p>育成部・教頭補佐</p>	<p>通年</p> <p>7月・8月</p> <p>8月</p> <p>12月</p>
<b>III. 倫理観の向上</b>	<p><b>1. 規範意識や倫理観の育成</b></p> <p>① 遅刻指導，SNS 利用におけるマナー指導を学年と連携して強化する。</p> <p>② 交通安全に対する意識の向上，公共交通機関利用時のマナーの向上を目指す。挨拶の励行を促進する。</p> <p>③ 清掃指導や保健指導を通して，美化や健康に対する意識を向上させる。</p> <p><b>2. 自治向上の精神の育成</b></p> <p>① 生徒の主体性を重視した生徒会活動や班活動を通して，創造力や忍耐力，協調性を育み、何事も自分で切り開いていく力を養う。</p>	<p>生徒部</p> <p>生徒部</p> <p>生徒部</p> <p>生徒部・高校教頭・教頭補佐</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>
<b>IV. 教育力の向上</b>	<p><b>1. 人事考課の実施</b></p> <p>① 校長面談において確認された各教員の単年度目標の機能的展開が可能となるように「個人事業計画書」を吟味し、その計画の実現に向けて、適宜現場での人事配置、業務改善を図る。</p> <p>② 人事考課が公正に行われるよう、授業観察、教員へのヒアリング等を通して多角的なデータの収集を図る。</p>	<p>中学教頭・高校教頭・教頭補佐</p> <p>高校教頭</p>	<p>通年</p> <p>通年</p>

	<b>2. 教員研修の充実</b> ①文部科学省が掲げる「教育の情報化による学びのイノベーション」に本校として対応するため、アクティブラーニング型の授業とも絡めながら、教育 ICT を導入した場合を想定した調査研究をおこない、適切な教員研修のあり方を探る。 ②校内で実施される初任者研修を見直し、システム化する。	教務部・中学教頭・高校教頭・教頭補佐  中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年  通年
V. 生徒募集の充実	<b>1. 広報活動の工夫</b> ①受験生参加型の入試説明会を充実させ、受験生の志望意識を刺激する。 <b>2. 在籍生徒からの発信</b> ①在籍している生徒の満足度を校外に発信する具体策を検討し、来年度の募集活動として年度内に実施する。	育成部・中学教頭  育成部・中学教頭	通年  通年

#### 【職員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. 事務室の機構改革	一部職員に負担が偏る職務状況を改善し、働きやすい職場環境を構築するため、事務室の機構を改革し、協働意識の徹底を図る。同時に出勤管理システムを導入して残業のない職場づくりを目指す。	事務長 総務課	通年
II. ハンドボールコート の改修および防球ネット の嵩上げ工事等の実施	プール建て替えに引き続き、ハンドボールコート及び夜間照明の改修を含めたグラウンド周辺部の整備を行い、教育環境を整える。	財務課	6月
III. 寄付金制度の構築	グローバル教育の実施、教育環境のさらなる充実を目指し、恒常的な、本校独自の寄付金制度確立を模索する。	事務室	通年
IV. 創始300年に向けて、 記念事業の計画検討	長期的視野に立って、学園史編纂、記念事業の計画立案を行う。	事務室	通年
V. グローバル教育実現 のための財政的支援	2019年度から、3年時秋に本格実施が予定されているフューチャーリーダーズ・プログラム(F L P) とエンパワーメントプログラム(E P)の保護者負担に対応するための、財政的支援策を検討実施する。	財務課	通年

2017年度 学校法人修道学園 事業計画  
 <広島修道大学附属鈴峯女子中・高等学校>

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<b>I 「目標管理」を原理とした自律的学校経営体制の展開</b> 1. 学校組織全体に「目標の連鎖」が成立している。	①広島修道大学附属学校として、学校改革を組織的・計画的に推進	管理職	年間
	②事業計画をブレークダウンした学校経営計画の作成と円滑な校務運営	管理職	年間
2. 部長・主任を中心として、各部・学年・コース・教科が自律的に校務を運営している。	③全教職員による自己申告書の提出と管理職によるヒアリングの実施	管理職	5月・10月
	④学校経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	各部長	10月
<b>II 適切な教科マネジメントによる学力の伸長</b> 1. コースやカリキュラム内容の充実が図られている。	①年間を見通した各経営計画の作成	各部・中学・学年・コース・教科	4月
	②各部、中学、学年、コース、教科の各経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	部長・中学・学年・コース・教科	10月
2. 学力伸長のための教科指導が適切に推進されている。	①高3・高2 特進コース・プログレスコースの受験科目の指導強化	教務部・P主任	年間
	②高3・高2 文理選択の統一性を持った指導の強化	教務部・高3・高2 学年主任	年間
2. 学力伸長のための教科指導が適切に推進されている。	③高3・高2 グローバル選択の統一性を持った指導の強化	教務部・高3・高2 学年主任	年間
	①教科ごとにきめ細かく明確な経営計画を定め、生徒が「わかる」「できる」を実感できる授業の推進	教務部	年間
	②学力伸長のための方策（模試対策・朝学習・週末課題・小論文指導・宅習記録等）と授業内容がリンクした教科シラバスの作成及び進捗状況の把握と評価	教務部・進路部	年間
	③教科ごとの模試偏差値到達目標値の設定と効果的な学力指導の推進	教務部	年間

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<p>3. 教科指導力の向上が絶えず組織的、計画的にはかられている。 【重点事業】</p>	<p>①教務部を中心とした教科指導力向上に係る情報の発信（ICT も含む）</p> <p>②全教員の所属教科及び所属教科外授業参観による指導力アップ自己研修の推進</p> <p>③教科指導方法の改善に係る校内研修の実施と校外研修会への計画的な参加の推進</p> <p>④国語・社会・数学・理科・英語の教科指導の工夫・改善のための広島修道大学との連携による研修会の定期的な実施</p> <p>⑤生徒の授業アンケートの実施と授業への反映</p>	<p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>7月・12月</p>
<p>4. クロスキャンパスコースに係る教育内容の充実がはかられている。 【重点事業】</p>	<p>①コース内容充実のための検討会の実施</p> <p>②「課題研究」を中心としたカリキュラム内容の充実</p>	<p>管理職・教務部・CC主任</p> <p>教務部・CC主任・高1学年主任</p>	<p>年間</p> <p>年間</p>
<p>5. 各種検定資格取得のための教科指導の充実及び生徒への受験指導が推進されている。</p>	<p>①教科シラバスへの組み入れ</p> <p>②生徒への受験指導の推進</p>	<p>教務部・教科</p> <p>教務部・教科</p>	<p>4月</p> <p>年間</p>
<p><b>Ⅲ 生徒の進路目標を実現するための方策を組織的・計画的に展開</b></p>			
<p>1. 具体的な進路数値目標を設定し、必要な方策を組織的、計画的に展開している。</p>	<p>①進路指導計画（進路シラバス）の作成と進捗状況の確認</p> <p>②進路数値目標（4大・偏差値等）の設定と教科との連携強化</p> <p>③進路部と学年、教科との進路シラバス進捗状況の相互確認</p> <p>④模試分析結果を教科指導内容や補習、週末課題等に速やかに反映</p> <p>⑤進路別小論文指導の充実</p> <p>⑥スタディサプリ使用状況の確認と次年度に向けての課題の検討</p>	<p>進路部</p> <p>進路部・教務部</p> <p>進路部・学年主任・教科</p> <p>進路部</p> <p>進路部</p> <p>進路部</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>4月・8月・12月</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
2. 「人間力」を育むキャリア教育を推進している。	①キャリア教育に係る進路シラバスの作成	進路部	4月
	②広島修道大学との生徒のキャリア形成に係る連携の強化（広島修道大学主催行事への参加促進も含む）	進路部・中学・CC主任・家庭科	年間
3. 生徒・保護者のニーズへ迅速に対応している。	①保護者を対象としたキャリアセミナーの実施	進路部	年2回
	②「進路のしおり」等による保護者・生徒への情報発信	進路部	年間
<b>IV 社会人として必要な資質・能力の育成</b>			
1. 生徒の学校生活の活性化を積極的に図っている。	①生徒自治会役員の記事企画能力（体育祭・文化祭等）、運営・実践能力の向上指導	生指部・CC主任	年間
	②生徒自治会主催の活動（挨拶・マナーアップ運動等）の育成	生指部	各学期始め
	③生徒自治会の各種委員会活動の活性化（各委員会の定期開催等）	生指部	年間
	④生徒が主体的に学校行事やボランティア活動に参加するための方策の検討と実施	生指部・CC主任	1学期中
2. 強固な意志を練磨するために部活動等の活性化を図っている。	①部活動加入率を高めるための積極的な活動の実施	生指部	4月
	②部活動所属生徒の在籍、退部状況調査の実施とその分析	生指部	12月
3. 自律心や規範意識・徳性などを育むための生徒指導等を組織的・計画的に展開している。	①全教職員による服装、身だしなみ、挨拶等の指導の徹底のための強化週間の設定	生指部	各学期2回
	②安全指導（交通安全・薬物・校内安全等）、性教育等の生徒の意識向上のための講演会の実施	生指部	各年1回
	③自転車通学生を対象とした交通安全教室等の実施	生指部	4月
	④全校集会、学年集会等を通じた自立心、規範意識、徳性の涵養	生指部・学年主任	適宜

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
4. 生徒の自立心を育むために、教育相談活動等の充実を図っている。	⑤遅刻防止指導の徹底と保護者への周知徹底	生指部	年間
	⑥携帯・スマートフォン・SNS 等の適切な使用についての指導	生指部	各学期
	①スクールカウンセラーの積極的な活用とスクールカウンセラーと連携した担任による生徒面談の実施	生指部	年間
	②スクールカウンセラーと各学年との連携のための連絡会の設置	生指部・学年主任	各学期
5. 中途退学者の抑制に努めている。	①中途退学者防止のための関係者会議での情報共有と早期対応	生指部・学年主任・事務	年間
6. 国際交流活動・国際理解教育を組織的、計画的に推進している。	①広島修道大学との連携による各種国際交流活動の企画と推進	庶務部	年間
	②海外研修制度の生徒・保護者への周知と参加の推進	庶務部・CC主任・英語科	5月
<b>V 教育ニーズの把握と情報発信により、保護者・地域から信頼される学校づくり</b>			
1. 年間を通じて組織的・計画的な情報発信を展開している。	①学校に係る情報の積極的な発信（ホームページ、「学校通信」等）	企画部・庶務	年間
	②三鈴会、同窓会への学校に係る情報発信と連携強化	庶務部・事務	年間
	③地域への学校に係る情報の積極的な発信と連携強化	庶務部・事務	年間
	④地域貢献活動への参加（広島修道大学との連携も含む）	庶務部	年間
2. 保護者と教職員との信頼関係が構築されている。	①保護者・生徒アンケートの実施	教務部	2学期中
3. 組織的・計画的な広報活動により多くの受験志願者を獲得している。	①クロスキャンパスコースの効果的な広報活動の推進	企画部	年間
	②オープンスクール、学校説明会等の内容充実	企画部	年間
	③学校・塾訪問等による募集活動の	企画部	年間

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<b>VI 施設設備の充実と環境整備【重点事業】</b> 1. 新校舎建設に向けて取り組んでいる。  2. 事務システムの改善に向けて取り組んでいる。  <b>VII 共学化の検討と推進【重点事業】</b> 1. 共学化の検討と推進に全教職員で取り組んでいる。	強化		
	④広島修道大学との連携による効果的な情報発信	企画部	年間
	①中学・高等学校の新校舎建設	財務課	4月
	②短大A・B・C・D・S棟、クラブハウス、木造家屋、プレハブ解体工事	財務課	年間
	①学園財務システムの構築	財務課	年間
	②諸費精算システムの構築	財務課	年間
	③グループウェアの移行	財務課	4月
	①移行特別委員会の設置と共学に向けての教育環境の整備	管理職・移行特別委員会	年間